

①地域医療の推進について（地域医療推進課）

1 入院患者見通し

将来人口は減少しても、入院患者は増加。
入院病床の確保が急務。

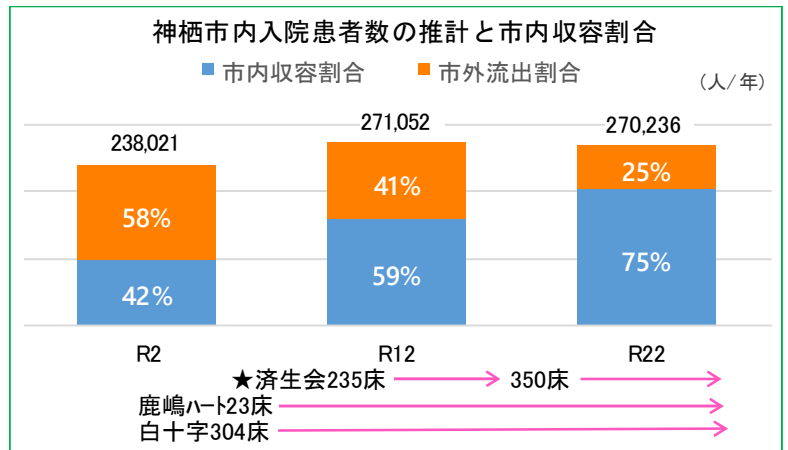
2 医療人材確保対策

【取組内容】

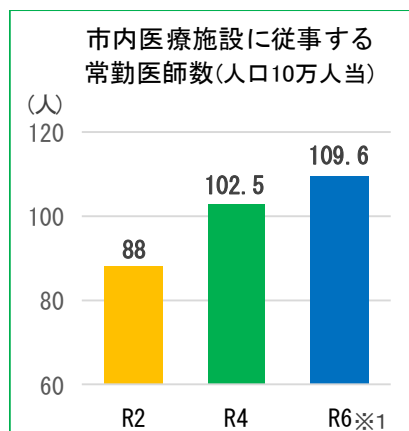
- ①医科大学との連携
- ②若手医師きらっせプロジェクトの推進
 - 教育研修環境整備・活動支援
 - 就業促進・雇用促進
 - 医師・看護師修学資金貸与と支援
 - 情報発信
- ③看護師・医療技術者支援
- ④看護職合同進学・就職相談会の開催



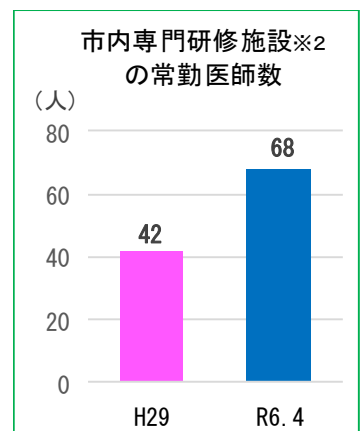
産業医トレーニングセンター
R6新規就業医師



★ R12、R22：神栖済生会病院の235床、350床が稼働しているものとして試算



※1 R6は市独自推計



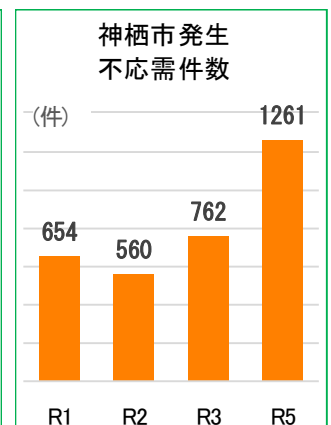
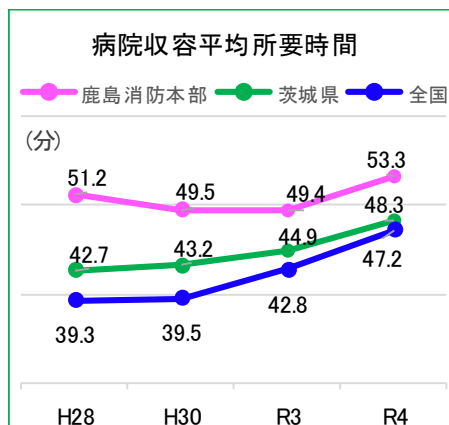
※2 白十字総合病院、神栖済生会病院
鹿嶋ハートクリニック

3 救急医療対策

コロナ禍で搬送時間の増、不応需の拡大
夜間の受入・労働災害の受入強化を目指す

【取組内容】

- 救急ワーキングチームによる課題改善策の
継続実施・強化
- 市内小児科の救急体制の見直し



4 体制整備

白十字総合病院の回復期・慢性期病棟建替

R6年12月完成予定
304床フルオープン・救急受入強化



鹿嶋ハートクリニックの病院化

R6年11月完成予定
特例病床4床／23床の病院化
緊急手術・循環器救急の拠点機能強化



神栖済生会病院新病院整備

小児科、整形外科、消化器がん診療等の急性期医療・救急医療の拠点病院

- ・ H30年7月 基本合意書に関する協定書の締結
- ・ H31年4月 再編統合
- ・ R元年7月 済生会土合クリニック開院
- ・ R6年現在 実施設計見合わせ中

新病院整備

ファーストステップ 235床程度
セカンドステップ 350床



神栖済生会病院への年平均支援額

H20～H29	159 百万円/年	10 年総額 1,591 百万円
H30～R5	320 百万円/年	6 年総額 1,917 百万円
		支援額合計 3,508 百万円

5 全員参加

産業医学基礎研修会

県医師会、市内企業の協力により実施
R2年以降 37都道府県 延べ3,143人参加

医療教育

教師の指導方針と医療従事者の知見を生かす
「命の尊さを知る」「弱者を思いやる心の育成」
「医療への関心を高める」

熱傷・薬傷症例検討会

労働災害に備え、企業スタッフと医療関係者が一緒に受講



企業・医療機関・行政連絡調整会議

医療体制の整備は産業都市の発展に不可欠



地方創生医師団と共催シンポジウム開催 令和6年10月13日～14日

- ・ 市民・企業・医療機関・行政等オール参加
- ・ 全国の医学生や若手医師、指導医等の参集

場所：かみす防災アリーナ



6 「第5回上手な医療のかかり方アワード」厚生労働省医政局長賞を受賞

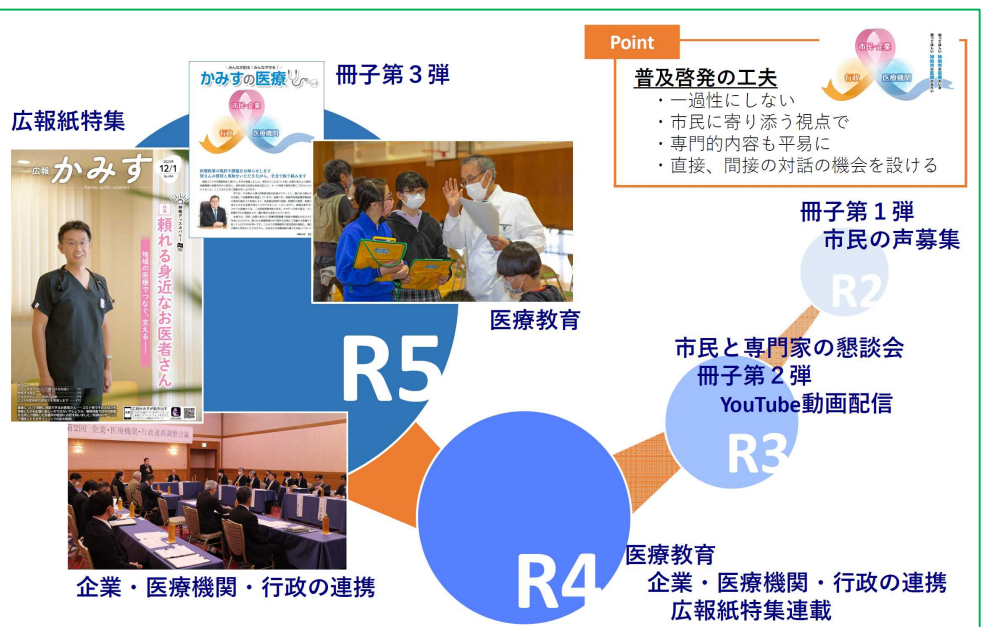
神栖市の取組みが上手な医療のかかり方につながる優れた啓発活動・取組として評価され表彰されました。

【取組名】

みんなが創る！みんなで守る！
かみすの医療プロジェクト

【取組概要】

医療を受ける側と提供する側が
双方向のやりとりを通じて、ともに考え、全員参加のもとに行動するプロジェクト。



②こども家庭センターの設置について (こども家庭課・こども政策課)

こども家庭センター（保健福祉会館別館2階 こども家庭課内）

概要

令和6年4月1日から、市内全ての子どもや妊産婦、子育て家庭を対象に、一体的支援を行うこども家庭センターが稼働しました。

母子保健（一部）

子育て世代包括支援センター

妊産婦や乳幼児の保護者を支援

児童福祉

子ども家庭総合支援拠点

虐待・貧困など
問題を抱えた児童や妊婦を支援

一体化



こども家庭センター

産前産後の体や心のこと、お子さんのこと、育児のこと、家庭の心配事、児童虐待のことなどの相談に対応します。

こども家庭センターでできること

- ・ 妊娠届の受付
- ・ 母子手帳の交付
- ・ 妊娠・出産・子育てに関する相談・情報提供
- ・ 家庭児童相談
- ・ 子育てカウンセラー相談
- ・ 児童虐待対応
- ・ 子育て短期支援事業など

保健師・子育てコンシェルジュ・社会福祉士などの専門職がお話を伺います。
お気軽にご相談ください。

日 時：月～金曜日
※祝日・年末年始を除く
午前8時30分～午後5時15分

子育て支援事業

核家族化、小家族化が進んでいることから、子育て家庭が孤立しないよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援と子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ります。

◆ 子育て応援ギフトカタログ（こども家庭課）

妊娠32週以降に保健指導を受けた妊婦または出生届を提出した保護者に子育てに役立つ品物（15,000円相当）が選べるギフトカタログを贈呈します。

◆ 出産・子育て応援給付金（こども家庭課）

出産・子育てにかかる経済的な負担を軽減するため、妊娠時及び出産後にそれぞれ5万円の応援給付金を支給します。

◆ 子育て応援券（こども政策課）

小学校入学を控えたお子さんをお持ちの保護者に、市内協賛店で入学に役立つ品物等を購入できるギフト券（30,000円相当）を贈呈します。



③小・中学校給食費の無償化について (学務課・第一学校給食共同調理場)

市独自の保護者負担軽減策により、令和6年度も
市内小中学校の学校給食費の 無償化を継続 します！

1年間の保護者負担額（無償化前）

小学生一人あたり 24,860円（月額：2,260円）

中学生一人あたり 27,060円（月額：2,460円）

事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や、物価高騰等に直面する保護者の経済的負担を軽減するため令和2年度から児童・生徒の給食費の無償化を実施しており、令和6年度も継続し実施します。

対 象

市内の小中学校に在籍する児童・生徒の学校給食費

実施期間

令和6年4月から令和7年3月までの1年間

食育の取組

学校給食は、地域の伝統的な食文化や、食に関わる人々への感謝、食料の生産・流通・消費などを学ぶことができる「生きた教材」です。将来、児童生徒が健康で健全な食生活を営むことができるよう、地元産物を使った献立や行事メニューの提供、学級訪問、食に関する指導など、様々な取組を実施しています。

《まるごとかみすの日》



ごはん、牛乳
かみすメンチ(ソース)
キャベツとピーマンのサラダ
いわしのつみれじる

《たなばたメニュー》



ごはん、牛乳
ほしがたシーフードカツ(ソース)
チキンときゅうりのサラダ
たなばたスープ
たなばたゼリー

※ 給食で提供している「ごはん」は、地元の農業者と農業協同組合の協力により、化学肥料や農薬を大幅に減量した神栖市産特別栽培米を使用しています。



④矢田部公民館管理運営事業について(矢田部公民館)

目 的

矢田部公民館は昭和57年に建築され、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与しています。老朽化・塩害等による経年劣化などが進んでいることから、長寿命化計画による劣化度調査を基に、安全・安心な施設の維持管理を行います。

施設概要

- ◆建物構造 鉄筋コンクリート造
- ◆建 築 年 昭和57年
- ◆延床面積 3,283.23㎡

工事概要

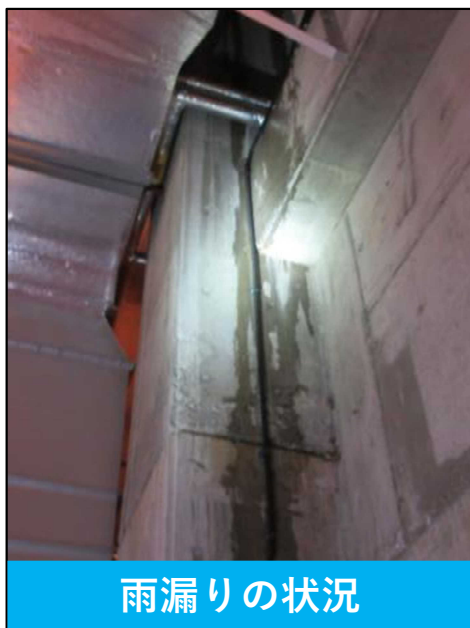
- ◆工 期 令和7年7月末まで
- ◆工事内容 屋根改修・防水改修・外壁改修
外部スロープ設置
外部建具その他改修

事業費

- ◆令和5年度～7年度契約額 312,642千円
- 工事請負費 306,900千円
- 監理委託料 5,742千円



屋根の状況



雨漏りの状況



爆裂の状況



⑤市営住宅建替事業について（住宅政策課）



令和6年度の主な工事概要

外構、歩道、側溝 工事 → **令和6年10月完成予定**

建築設計概要

- ・建物構造 鉄筋コンクリート造
- ・階数 3階（エレベーター設置）
※屋上は津波緊急避難場所として活用
- ・延床面積 3,269㎡（敷地面積 6,052㎡）
- ・住戸 3DK29戸 1DK21戸 計50戸
- ・その他 駐車場100台、駐輪場57台、
手動井戸ポンプ

事業費（令和4年度～令和6年度）

◎建築事業費（契約額）	1,481,721千円
○解体工事	245,784千円
○建築工事	1,217,216千円
○施工監理	18,721千円
※令和6年度発注の関連事業費（設計額）	
○歩道新設、側溝敷設替え工事	33,704千円

⑥雨水排水対策事業について（道路整備課・農林課）

1 波崎地区浸水対策経緯

波崎地区は、台風等の大雨による利根川の増水、潮位の影響、既設水路の能力不足等により、浸水被害が発生しています。

無堤防地区であることから、堤防の早期完成に向けて国土交通省・財務省へ要望活動を行うほか、国土交通省をはじめとした関係機関と協議会などを開催し、利根川の治水対策の協議を継続しています。

2 神栖市独自の排水対策

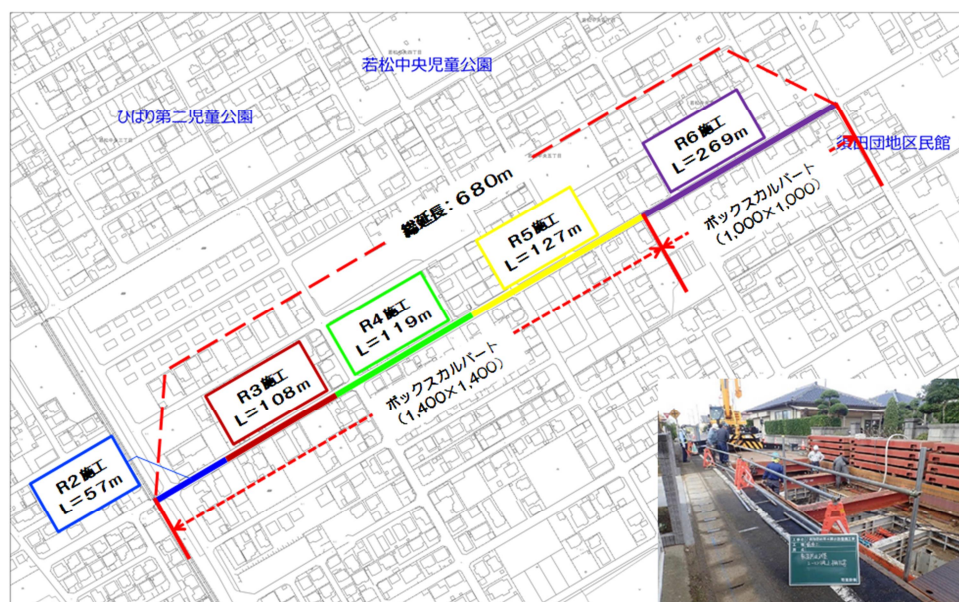
【本郷地区】

令和3年度から令和5年度にかけて、本郷地区に利根川からの逆流を防ぐフラップゲートを設置したほか、地盤の低い箇所へ内水排除のためのポンプ施設を設置しました。



【須田団地地区】

台風等の大雨による浸水被害の軽減のため、須田団地雨水排水路整備工事を令和2年度から整備開始しており、令和6年度で完了する予定となっています。



3 国土交通省で行う浸水対策工事（令和6年度）

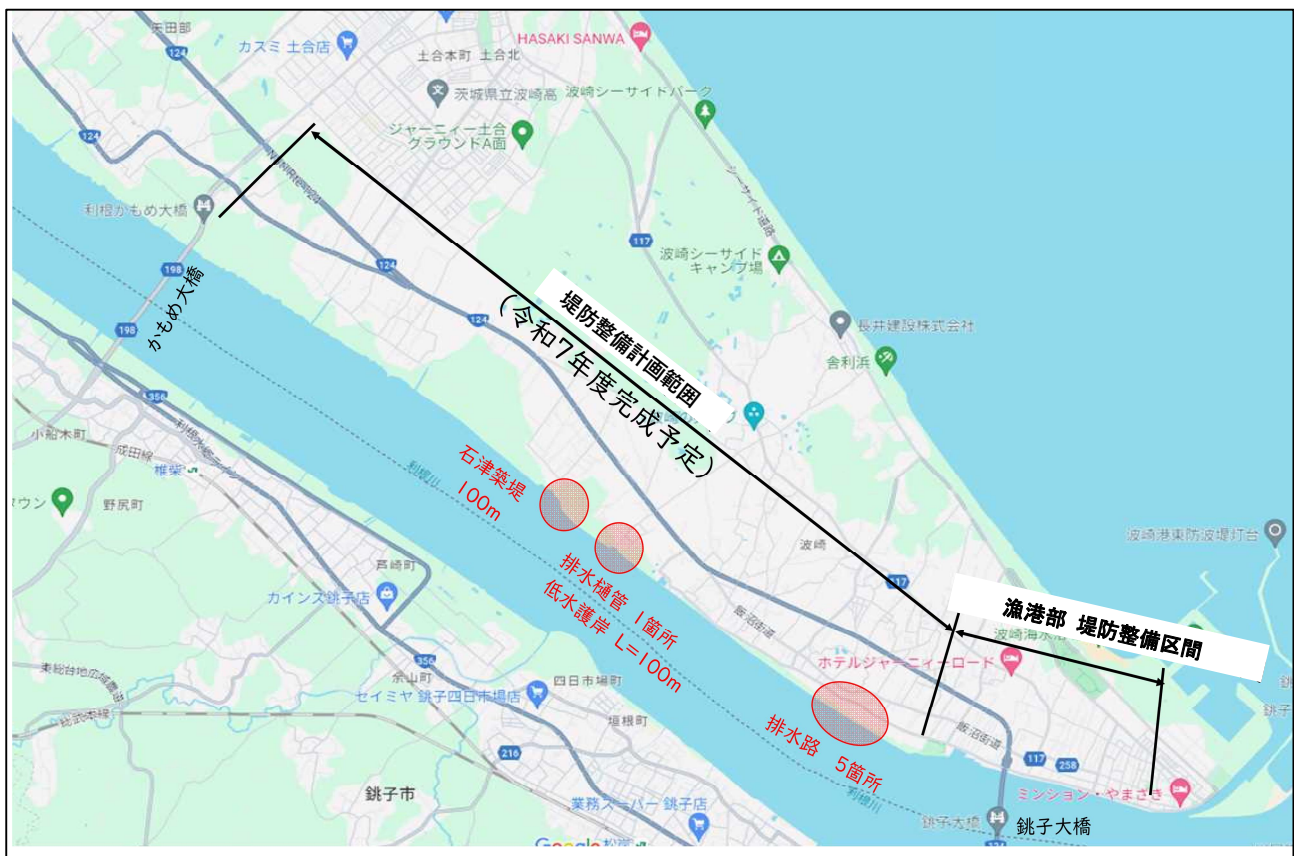
- （1）別所地区（排水路） N=5箇所
- （2）石津地区（築堤） L=100m
- （3）荒波排水樋管
及び低水護岸 L=100m

○国土交通省で行う今後のスケジュール

利根かもめ大橋下流部の無堤防区間について、今後は、樋管及び堤防の整備を用地が確保された箇所から順次実施していく予定であり、概ね令和7年度の完成を目指しています。それ以降、河口部まで整備していきます。

○漁港部の堤防整備について

漁港部の整備については、堤防整備を計画に位置付けた後に、地域住民や漁港利用者の方へ説明し、調整が整った段階で堤防整備に着手していきます。



⑦水道管（石綿管）更新事業について（水道課）

1 これまでの経緯

昭和40年代より水道整備が開始された波崎地域は、約20キロメートルにわたり石綿管（アスベスト管）が使用されていました。石綿管は、当時、鉄管より安価なため広く普及したのですが、他の配管よりも強度が弱いことから、より安全で快適な水の供給を目指して、石綿管をはじめとした老朽管の更新工事を実施し、令和5年度末現在において、約10キロメートルを耐震性ダグタイル鋳鉄管などの耐震管に交換しています。

更新工事には膨大な時間と多額の費用がかかることから、現在の石綿管更新率は約50パーセントに留まっている状況です。そのため、神栖市では令和元年度に水道施設更新計画を策定し、令和3年度より重点的な更新工事を実施しています。

2 今後の予定

現在は、波崎東部地域の大動脈であるφ300からφ250の石綿管の更新工事を集中的に行っており、令和8年度までに完了する予定です。

その後は、φ200以下の石綿管を順次更新する予定となりますが、細い道路や民地内に埋設されている場合、埋設位置の特定が困難な場合が多く、工事が難しくなることが予想されますので引き続き、皆様のご理解をお願いします。



3 近年の実績

実施年度	更新延長	工事費
令和3年度	923m	216,777,000円
令和4年度	411m	128,533,900円
令和5年度	740m	230,457,700円

4 事業位置図

